



奈良県経済の概況

新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、一部で持ち直しの動きがみられる

個人消費 百貨店・スーパー販売額は前年同月比3か月ぶりの減少

住宅着工 新設住宅着工戸数は前年同月比2か月連続の減少

公共投資 公共工事請負金額は前年同月比3か月連続の減少

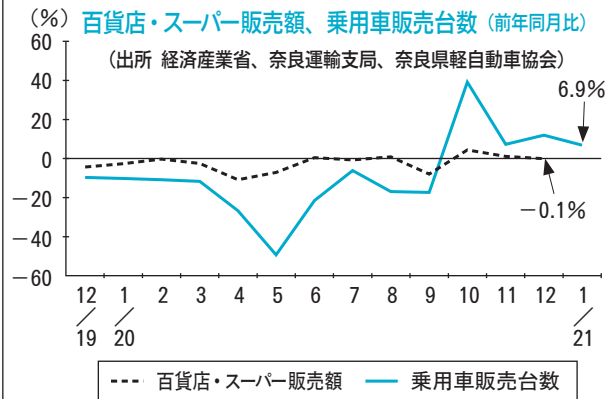
雇用情勢 有効求人倍率は前月比0.04ポイント低下の1.07倍

企業倒産 倒産件数は3か月連続の一桁台

生産活動 鉱工業生産指数は前月比3か月ぶりの上昇

1 個人消費

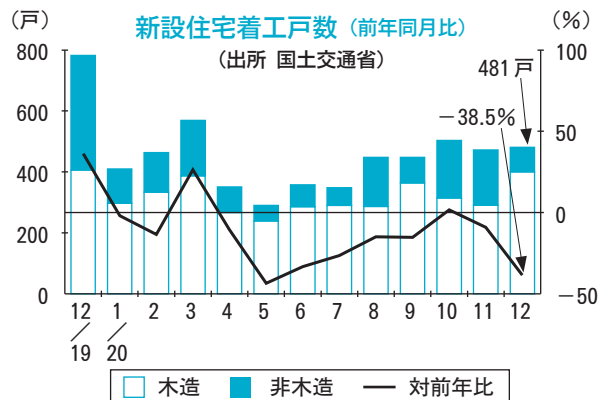
百貨店・スーパー販売額は前年同月比3か月ぶりの減少



- 12月の百貨店・スーパー販売額（速報値、全店ベース）は前年同月比0.1%減の223億63百万円となり、3か月ぶりの減少。
- 1月の乗用車販売台数は前年同月比6.9%増の3,570台と、4か月連続の増加。普通乗用車は同20.8%増、小型乗用車は同10.4%減。軽乗用車は同6.4%増となった。

2 住宅着工

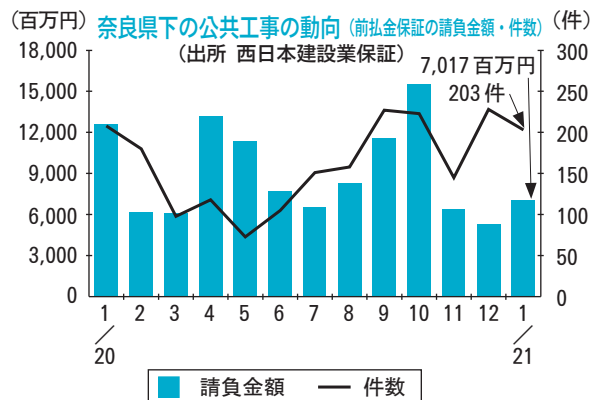
新設住宅着工戸数は前年同月比2か月連続の減少



- 12月の新設住宅着工戸数は前年同月比38.5%減の481戸と、2か月連続の減少。
- 利用関係別にみると、持家は同3.5%増の269戸と3か月ぶりの増加、貸家は同58.5%減の76戸と2か月連続の減少、分譲住宅は同71.4%減の97戸と3か月ぶりの減少となった。

3 公共投資 (西日本建設業保証の保証取り扱い)

公共工事請負金額は前年同月比3か月連続の減少

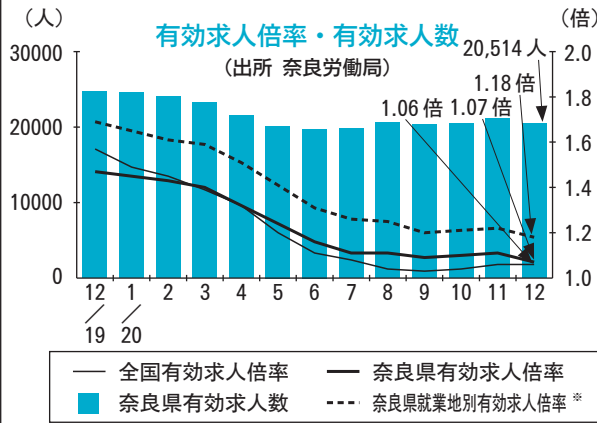


- 1月の公共工事請負金額の動向をみると、全体では前年同月比44.3%減の70億17百万円と、3か月連続の減少。
- 発注者別にみると、国は同43.9%増、県は同55.0%増、市町村は同89.2%減。

4

雇用情勢

有効求人倍率は前月比 0.04 ポイント低下の 1.07 倍



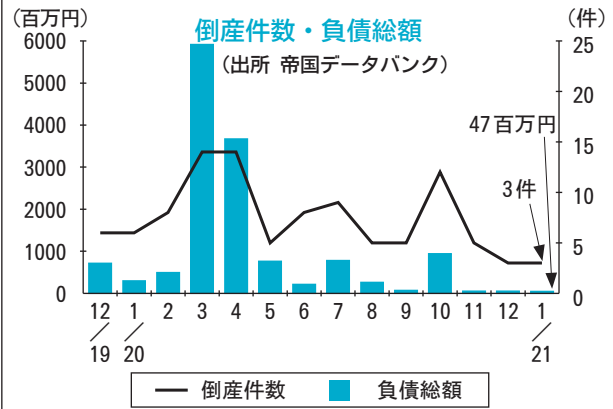
*実際の就業地が奈良県内の求人の倍率

- 12月の有効求人倍率（季調値）は前月比 0.04 ポイント低下の 1.07 倍となり、3 か月ぶりの低下。前年同月比は 0.40 ポイント低下。
- 新規求人倍率（季調値）は、前月比 0.24 ポイント低下の 1.82 倍と 3 か月ぶりの低下。前年同月比は 0.53 ポイント低下。

5

企業倒産

倒産件数は 3 か月連続の一桁台

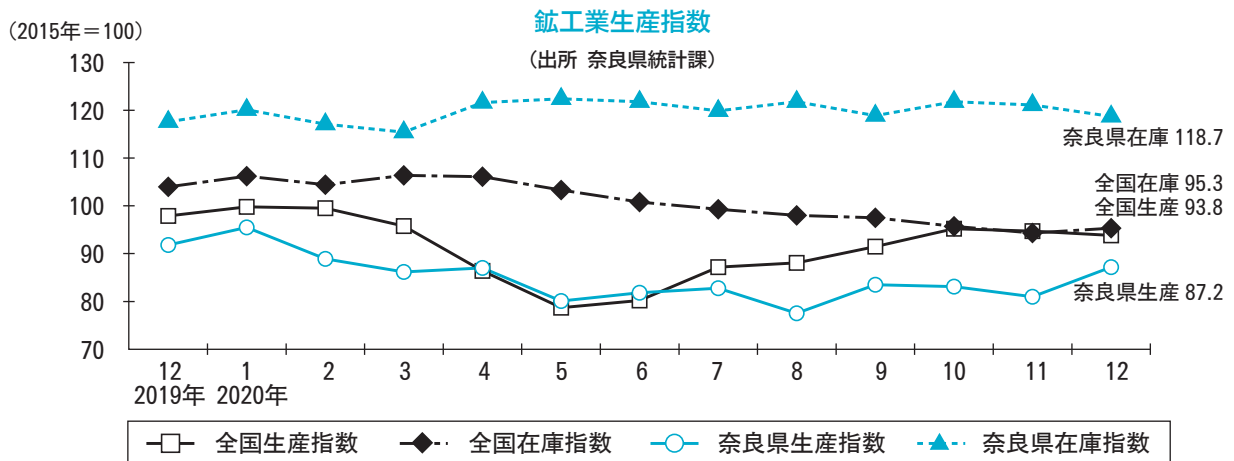


- 1月の倒産状況を見ると、件数は前年同月比 50.0%減の 3 件となり、3 か月連続の一桁台。負債総額は同 84.2%減の 47 百万円と 3 か月連続の減少。
- 業種別では、サービス業が 2 件、その他が 1 件。倒産形態では、自己破産が 2 件、民事再生法が 1 件であった。

6

生産活動

鉱工業生産指数は前月比 3 か月ぶりの上昇



- 12月の鉱工業生産指数（季調値、速報値）は、前月比 7.7%上昇の 87.2 となり 3 か月ぶりの上昇。原指数は前年同月比 5.0%低下の 86.2 となり 17 か月連続の低下。在庫指数は前月比 2.0%低下の 118.7 となり 2 か月連続の低下。
- 業種別生産指数の動きは、食料品・たばこ工業、化学工業、電気機械工業等の 15 業種が前月比上昇となる一方、生産用機械工業、プラスチック製品工業の 2 業種が同低下。